

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	超音波内視鏡検査による食道表在癌の深達度診断の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 消化器内科 海野 修平
研究実施体制	聖隷浜松病院 消化器内科 金谷 和哉, 佐藤 友香, 榛葉 俊太郎, 大城 恵吾, 玉腰 裕規, 吉井 元, 遠藤 茜, 小林 郁美, 志田 麻子, 丹羽 智之, 江上 貴俊, 山田 洋介, 小林 陽介, 鏡 卓馬, 木全 政晴, 芳澤 社, 室久 剛, 長澤 正通, 細田 佳佐
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2021年 12月
対象者	2016年1月から2021年4月までに聖隷浜松病院で食道表在癌と診断し、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)および外科的手術を施行した患者
研究の意義・目的	食道表在癌は深達度により治療方針が異なります。食道表在癌の中には、リンパ節転移率によって内視鏡的治療で根治が望める浅い病変から、外科的手術の適応となる粘膜下層深層への浸潤癌まで存在します。現在内視鏡の拡大観察の普及により、血管の形態変化により深達度診断が可能となっているものの、診断が難しい症例も多々あります。食道癌治療ガイドラインでは深達度診断には拡大内視鏡(ME)および超音波内視鏡検査(EUS)が弱く推奨されています。今回、我々は拡大内視鏡による深達度診断に、EUSでの深達度診断を加えることの有用性を検討します。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 症例の年齢、性別、病変部位、内視鏡診断の肉眼型、拡大内視鏡深達度、EUS深達度、ESDおよび外科手術検体の病変サイズ、断端評価、組織型、病理診断深達度、脈管侵襲、追加治療の有無に関して。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 消化器内科 (氏名) 海野 修平 TEL:053-474-2222(代表) 消化器内科外来 9:00~17:00 平日